

# 多様な豪雨パターンの模擬発生 － 雨の降り方と災害リスク －

(独)農研機構 農村工学研究所



洪水や氾濫のような豪雨災害の発生リスクには、雨量だけではなく雨の降り方(降雨波形)も大きく関係します。そこで、シミュレーションにより様々な雨量・降雨波形を持つ豪雨データの模擬発生法を開発しました。これにより災害リスクの高い危険な豪雨パターンやその被害度合いを予測することができます。

1

## 雨の降り方で災害のリスクが変動



写真: 北國新聞H18.7.18 朝刊より

- 将来は降雨パターンが変わると予想されており、様々な豪雨を想定して災害リスクを予測する必要があります
- しかし、実測の豪雨データを多数得ることは困難です

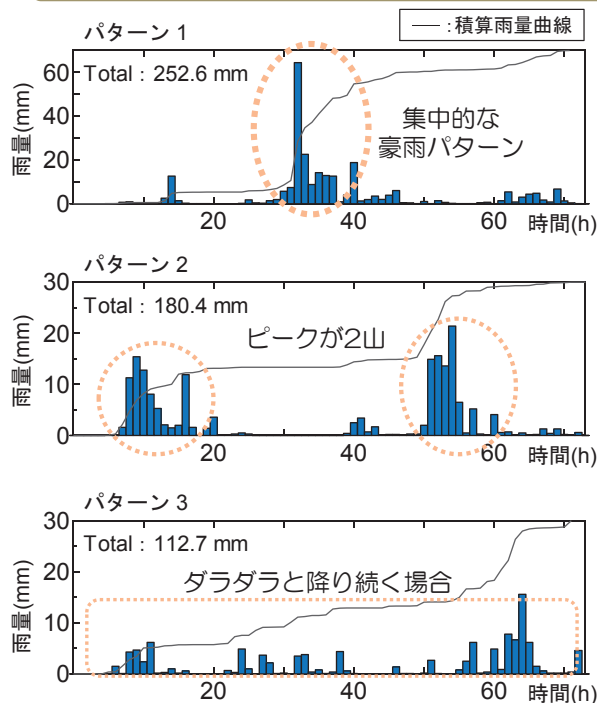
そこで...

## 豪雨データの模擬発生法を開発

- シミュレーションにより、様々な雨量や降雨波形パターンの豪雨を容易に得ることができます
- データは1時間単位で、対象地区で観測された豪雨の特性を備えています

2

## 模擬発生させた豪雨の一例



## 様々なパターンの豪雨を想定!!

データの活用

## 洪水や氾濫などの解析に入力可能

- 解析結果より、災害リスクの高い豪雨パターンやその時の被害度合いを予測することができます
- 豪雨の強大化といった、気候変動への対応策の検討にも活用する予定です

3

## 農地湛水被害の解析結果の例

